

21世紀のキャリア支援

～ライフデザインとキャリア構成のためのカウンセリング～



臨床心理士 井上 孝代 氏

プロフィール

臨床心理士。1944年生まれ。九州大学大学院心理学専攻博士後期課程満期退学。博士(教育心理学)。病院・教育相談所・社会福祉機関・企業などの心理職、大学非常勤講師、家庭裁判所の調停委員や地方自治体の各種審議委員などを歴任。1991年より東京外国語大学留学生日本語教育センター助教授/教授。1998年より明治学院大学心理学部教授/副学長、2013年定年退職(名誉教授)。現在、立命館大学大学院客員教授。井上孝代マクロカウンセリングセンター(MCC目黒)代表。主な編著書に、『マクロ・カウンセリング実践シリーズ』(川島書店)、『あの人と和解する』(集英社新書)、『コンフリクト解決のカウンセリング』(風間書房)などがある。

20世紀初頭、産業革命によって業務が機械化・管理化されることで人間関係の希薄化が進み、多くの職場環境に適応できない人が出ました。そのような問題解決に向けて、さまざまな心理的・社会的サポートが模索されていたアメリカ(ボストン)で職業指導運動に従事したフランク・パーソンズは、「人と職業の適合」の基本原則に基づいて、キャリアガイダンスの理論化を行いました。以後、100年余り、心理学をはじめ社会学、経済学、経営学などの関連学問領域がキャリアガイダンスに関わり、相談・支援の提供に有益な理論や科学的知見が集積されていきました。

21世紀に入った現在、経済のグローバル化・デジタル革命などの社会変革に伴い、仕事の安定から流動への変化にあわせ「不安定な雇用」が増え、個人が仕事を選択し、キャリアを永続的に構成することが難しい状況になりました。そういうキャリアの再概念化が求められる21世紀におけるキャリア支援にあたって、マーク・L・サビカスは新しい介入アプローチが必要だと唱えました。情報化社会の今日、私達の人生コースはきわめて個性に満ちています。自己(セルフ)を設計し、キャリアをデザインするというのが、これまでの会社や社会の責任というより私たち自身の責任に委ねられているといえます。

サビカスは自己の「人生の語り」(ストーリー)に注目しました。自己の人生ストーリーにアイデンティティ資本を結びつけることで職業的なストレスやトラウマにも対処できると説きます。その場合キャリア支援者の役割は、クライアントが社会的アイデンティティを喪失することなくキャリア構成していけるよう、人生をより良くライフデザインできるよう支援していくことと述べています。

講演では、多様化・多元化した現代社会において、どのようにキャリア支援を行っていくべきかについて、サビカスの「ライフデザインとキャリア構成のためのカウンセリング」の理論と実践から学んでみたいと思います。

★参考書：マーク・L・サビカス『キャリア・カウンセリング理論と実践』：ライフデザイン・カウンセリング・マニュアル 2016 水野修次郎監訳・著 遠見書房

宗次流人生観



カレーハウス CoCo 一番屋創業者

宗次 徳二 氏

プロフィール

1948年生まれ、石川県出身。高校卒業後、八州開発株式会社を経て、1970年に大和ハウス工業株式会社に入社。1973年に独立。不動産仲介業を経て、1974年喫茶店「バックス」を開業。1978年カレーハウスCoCo一番屋を創業する。1982年株式会社一番屋を設立し、代表取締役社長に就任。1998年に同代表取締役会長に、2002年に創業者特別顧問に就任。店舗数は2016年10月現在、国内外を含め1449店舗を数える。その後、2003年にNPO法人イエロー・エンジェルを設立し、理事長に就任。2007年にはクラシック音楽専用の「宗次ホール」を名古屋市内にオープンし代表に就任。著書に『日本一の変人経営者』（ダイヤモンド社）『夢を持つな！目標を持って！』（商業界）などがある。

私は、私生児で生まれ、孤児院と養父母のもとで成長しました。今振り返ると、幼少期の厳しい環境は、私の精神をずいぶん鍛え上げてくれたように思います。18歳で何も知らずに入った不動産関係の会社から不動産仲介業への転身。その後安定して日銭を稼げる商売をしようと、後先考えずに喫茶店を開業し、それがカレーハウスCoCo一番屋の創業につながりました。経営から退いた今は、NPO法人を設立し、困っている人、一生懸命な人を支える活動に取り組んでいます。

私は、経営者として経営にのめりこんでこれまでやってきました。現場主義を貫き、朝から晩まで徹底的に働きました。すべては日々の積み重ねだと思います。夢を描くのではなく小さな目標を立てて、着実に一つ一つの目標を達成していくよう努力することで、20年、30年たった時に奇跡が起こるのではないかと思います。私の場合その工程は行き当たりばったりで、その日その日を誰にも負けないという思いで率先垂範し、現場主義、お客様第一主義で取り組んできました。その間に大切にしてきたことは、自分自身の姿勢や生き方、お客様への思いです。姿勢が良ければコツコツと積み上げていくことができるのです。私自身いい加減なところはいっぱいあります。また、欠点は誰にでもあります。自分自身のプラスとマイナスを比較した時に、プラスが0.5でも多ければよいのではないかと思います。

私は、53歳の時に会社の経営を後継者に譲り、NPO法人を設立しました。これまでの経営を通して、多くの人に支えられてきたことに感謝の気持ちを表したい、そんな思いで日々充実してNPO活動に取り組んでいます。

大会では、これまでの私の生き方や、取り組んできたこととその思いなどをお話したいと思います。多様に生きる人々と接する機会が多い皆様方に、私の生き方を受け止めていただけると嬉しく思います。